

## OECD Student Ambassador 2016-17 インタビュー

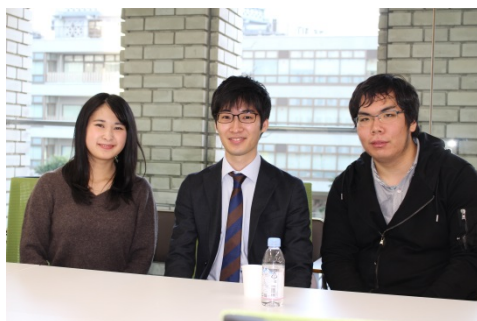
### Q. OECD Student Ambassador とは？

OECD Student Ambassadorプログラムは、大使となる学生の皆さんが大学でOECDの広報活動に取り組むプログラムです。イベントを企画したり、SNSで情報を発信したり、さまざまな方法でOECDの知見や活動を紹介していくのがアンバサダーの役目です。



The Japan Timesに  
私たちアンバサダーが  
掲載されました！

第3期のアンバサダーは、関東・関西の大学からあつまった8名が、それぞれの個性を生かして活動しているようです。今回は東京で活動する3人のアンバサダーに、インタビューを行いました。



## 和田 恵さん



所属：慶應義塾大学

専攻：環境政策・環境ガバナンス—国連の持続可能な開発目標

政府の国際交流プログラムで、ASEANや日中韓の環境会議に出席した経験があります。また、学内で国連・持続可能な開発目標(SDGs)の広報もしました。

### Q. 応募のきっかけは？

国際機関でのキャリアに関心があり、去年の2月に学校のプログラムを通じてパリのOECD本部に訪問にしたことがきっかけです。現在大学で国連・持続可能な開発目標(SDGs)の勉強をしていて、学内広報にたずさわっています。そうした広報活動の経験も活かし、国際機関を学生にとって身近にしていきたいと思い応募しました。

### Q. これまでどんな活動をしてきましたか？

私は今度高校生向けのキャリア教育のワークショップを行うことになっており、その中でOECDのデータなどを紹介したいと準備をすすめています。教育分野の経験があるメンバーもいるので、どうしたらわかりやすく、関心をもってもらえるような授業を組み立てられるか、アイデアをもらいながら実施できるのは心強いです。多種多様なメンバーが集まっているので、それぞれの特性を生かした企画・活動をしています。

### Q. OECD学生アンバサダーの活動を通して得られることは？

さまざまな大学から学生が集まり、一から作り上げるのがこの活動の醍醐味だと思います。OECDという機関をどのようにみせていくかというところから皆で考え、自由に取り組みせていただいています。

### Q. 最後に、将来の夢は？

国際機関のなかで、政策提言の業務にたずさわりたいです。以前、OECD玉木事務次長から、政治的な影響を受けず各国が同じマインドのもとこれが正しいということを追究していくことができるのがOECDの強みだと伺いました。そのような組織で働くことができたら面白そうだなと考えています。

## 並木 優斗さん



所属：一橋大学大学院

専攻：国際関係論—難民保護、国家間の制度の遵守

学部生時代から教育分野に関心があり、教育関係のアルバイトにたずさわってきました。

### Q. 応募のきっかけは？

大学のキャリア支援室でチラシをみつけたのが直接的なきっかけです。学部時代に教職課程を履修しており、PISA（生徒の学習到達度調査）などOECDに親近感をもっていました。また、修士になり人とかかわる機会が減ったので、さまざまな学生と一緒に活動したいと思ったこと、進路に関連して広報活動に関心があったことで応募を決めました。

### Q. これまでどんな活動をしてきましたか？

今年のアンバサダーは、普段はそれぞれの大学を中心にポスターの掲示や授業でOECDの取り組みを紹介するなど多様な取り組みを行っています。個人的には、OECDの認知度調査を行ったり、木南さんと一緒にOECDパリ本部で人事をされている職員の方にインタビューをさせていただく機会がありました。現場の職員の方とお話する中で、OECDという組織やそこで働く人、活動が時代とともに変化していることを感じ、そうしたダイナミックな側面も今後さらに発信していけたらと思っています。

### Q. OECD学生アンバサダーの活動を通して得られることは？

大学もバックグラウンドも異なるチームを立ち上げるという、なかなかできない経験です。チームの中で自分は何ができるか改めて考えさせられる機会になります。また、自分が知らないことでも、勉強し、挑戦させてもらえる環境に身を置くことができます。

### Q. 最後に、将来の夢は？

誰もがやりがいをもっていきいきと働ける仕組みをつくっていききたいと考えています。データアナリティクスのスキルを身につけ、一人でも多くの人が自分の強みを活かせるような仕組みをつくれたらよいなと思っています。また、OECD本部の人事の方とお会いしたとき、国際機関は色々な専門性や国籍の多様性のかたまりであることをお伺いしました。そのような組織をマネジメントしていく業務にも関心を抱いています。

## 木南 漢さん



所属：日本大学

専攻：金融公共経済学—金融

広告学研究会の大会、ベンチャーの立ち上げインターン、動画投稿サイトの運営など幅広く活動しています。

### Q. 応募のきっかけは？

OECD学生アンバサダーの活動を知人から聞いたことをきっかけに応募しました。サークルで企画部に所属しており、自身の企画力をためてみたいと思ったのが大きな理由です。自分の企画した活動に多くの人に触れていただくことができるので、とてもやりがい大きいです。

### Q. これまでどんな活動をしてきましたか？

各アンバサダーのキャンパスでの活動に加え、SNSを通じた情報発信など、アンバサダー全員で共通に取り組んでいる活動もあります。先日は、並木さんと一緒にOECDパリ本部で人事をされている日本人職員の方にインタビューする企画を担当しました。この記事はいま並木さんにまとめてもらっていて、今後SNS等で発信したいと考えています。このように、各メンバーがそれぞれの得意な分野を生かして協力しています。

### Q. OECD学生アンバサダーの活動を得られることは？

自分を試し、成長する機会が得られると思います。特に、職員の方から自分たちの考えたものに関してダイレクトにフィードバック、評価してもらえるのは、とても貴重な経験です。

### Q. 最後に、将来の夢は？

人、組織やサービスの埋もれている魅力を、一緒に発見する仕事をしたいです。これまで学生アンバサダーの広報活動を通じて、客観的な立ち位置から組織の魅力をみつける作業を体験しました。将来、そのような能力で人を感動させる仕事ができたらと考えています。

